

令和7年度

豊島区立池袋小学校

学校経営方針

「へんじ あいさつ あと片付け」

めざす学校像

- 1 世界の文化や習慣を教材にし、国際理解教育を推進する学校
- 2 「分かる・できる」を実感する授業づくりをする学校
- 3 学びの場がふさわしい教育環境の整った学校
- 4 保護者との関係を大切にしている学校
- 5 地域に理解され、協力を得て信頼される学校
- 5 教職員が互いに学び合い、高め合い、協働する学校

人権尊重の精神を基に、明るく健康で、共生社会を生き抜く児童を育成するために次の目標を設定し、その実現を図る。

多文化を尊重し、人を大切にしている児童の育成

世界の学び舎に集い、学習・生活をする中で違いを認め合い、共生するよさを理解する。

めざす児童像

- 1 明るく挨拶ができる子
- 2 自分を大切に、友達を大切にできる子
- 3 地域を大切にしている子

めざす教師像

- 1 一人の人間として児童と接する教師
- 2 間違えたことは素直に謝る教師

教育目標を達成するための基本方針

- 全教育活動を通して、児童の身近な環境(人・社会・自然)に対する関心を高め、地域(環境)を大切にする態度や心情を育てることで豊かな心の育成を図る。
- 生命を尊重する心や他人を思いやる心を育てるため、多様な人との交流活動や体験的な学習を積極的に行っていく。「特別の教科 道徳」を基に、学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実を図り児童の道徳性を高めていく。
- 授業時間を充実させるとともに個に応じたきめ細やかで段階的な指導を行う。また、タブレット・PCの活用や家庭との連携を通して家庭学習を充実させ、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っていく。
- 児童が学ぶ喜びを実感できる指導法や少人数指導などの授業形態を各教科で工夫・改善することを通して、深く考える力、豊かに感じる力およびコミュニケーションを図る意欲や能力を高める。授業における言語活動を充実させることで思考力・判断力・表現力を伸ばす。
- 体育科の授業や体育的活動の中で運動の楽しさを味わわせることを通して、日常的に運動に親しむ態度を育て、体力の向上を図る。また、食育指導・保健指導を重視し、児童の健康と体力の増進を図る。
- 児童の生活基盤は家庭・地域であることを踏まえ、地域とのつながりを学習内容に生かす。体験等の活動に外部(地域人材)を活用し、興味・関心を高める学習指導を行う。
- 特別支援教育を推進するために、全児童の支援レベルを全職員で共有し個に応じた支援を行う。
- 家庭・地域社会・関係者機関との連携をいっそう深め、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるために、地域に情報を発信し、外部関係者を活かした教育活動を推進する。
- SDGs 17のゴールを見据え、児童を取り巻く社会現象を自分事として捉えられるよう、事実を基に学習指導をすすめる。

学習指導

- 在校時間の80%が授業時間であることを自覚し
- 1 学ぶ楽しさを実感させる授業
必然性のある学習課題の提示と一般化を図る。
- 2 学習が分からない子〇を目指す
基礎・基本の定着・家庭学習の充実(家庭の協力を得る)
- 3 課題解決型の学習過程の構成
- 4 めあてを明確にした授業の展開
- 5 個に応じた指導の充実
 - ・1・2年算数 少人数指導(講師による)
 - ・3～6年算数 少人数指導(西沼教員)
 - ・夏季休業中の補習
- 6 マラソン・縄跳び等の体力の向上
- 7 地域人材・自然・施設を活用した体験的な学習の充実
- 8 A L Tを活用した英語活動
3・4年・20時間 5・6年・35時間
- 9 タブレット・PC等の機器を活用し、学習の質を高める。さらにドリルパーク等で、学習の習熟を図る。

生活指導・進路指導

- 相手を認め思いやる気持ちを大切にすることを指導の根本とする
- 1 正しいことを正しいと言える環境づくり
- 2 基本的生活習慣の定着を図るため、個に応じた見届ける指導の徹底
- 3 朝の健康観察の重視、健康状態の把握、欠席児童の確認・連絡の徹底
- 4 いじめ、不登校、問題行動、人権侵害等への迅速な対応(アンケート等)多方面からの児童理解
- 5 差別・偏見の根絶、互いの違いや異なり・よさを認め合う人権教育
- 6 スクールカウンセリング機能の充実
- 7 安全・安心な学校生活を送るため危険を予知・回避する能力の伸長
- 8 SNSルールをもとに情報倫理に基づいたICTの活用
- 9 学習・生活のきまりの徹底

特色ある教育活動

- 国際理解教育を中心に「学び合い」「かかわり合い」「自然愛」の「3つのあい」をキーワードとし、豊かな人間性を養う
- 1 話し合い、伝え合い、考え合いなどの学び合いを意図的に授業に取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成
- 2 分かる喜び、できる喜び、感じ・考え・表現する喜びを実感させるため、授業改善、少人数指導、長期休業中の学習教室、体験活動・読書活動の実施
- 3 自然を愛する心の育成のために学級園や自然園の効果的な活用
- 4 西池袋中や長崎小、池袋第三小との小中連携教育の推進
- 5 「和楽器演奏会や生け花教室、華道等の日本伝統文化体験の重視と国際理解フェスティバル」
- 6 生活・総合的な学習の時間を中心としたSDGsへの取り組み
- 7 区内の特色ある歴史や文化を地域の方々から学ぶ「豊島ふるさと学習」

特別支援教育

- 共生社会を目指して、個々の児童のニーズに合った教育支援を行う
- 1 インクルーシブ教育の充実
 - ・校長・副校長・3・4年・SC・養護教諭・担任等
- 2 特別な支援を必要とする児童の把握・理解・指導
- 3 巡回相談の実施
- 4 教育センター就学相談、児童相談所、子ども家庭支援センター、幼稚園、保育園、中学校等関係機関との連携
- 5 担任による児童の状況把握と生活指導タテでの情報共有
- 6 個別支援計画・評価の改善
- 7 特別支援教室を活用した指導の充実
巡回指導教員と特別支援教室専門員の専門性を活かした指導